

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2012-147762

(P2012-147762A)

(43) 公開日 平成24年8月9日(2012.8.9)

(51) Int.Cl.	F 1	テーマコード (参考)
AO 1 M 29/34 (2011.01)	AO 1 M 29/00 1 2 2	2 B 1 2 1
AO 1 M 1/02 (2006.01)	AO 1 M 1/02 B	

審査請求 未請求 請求項の数 2 書面 (全 4 頁)

(21) 出願番号	特願2011-21145 (P2011-21145)	(71) 出願人	593192601 安藤 清三 福島県福島市飯坂町平野字五斗蒔 1 4 番地の 1 1
(22) 出願日	平成23年1月17日 (2011.1.17)	(71) 出願人	505390484 浅間 好次 福島県福島市飯坂町平野字谷地田 1 - 2 9
		(72) 発明者	安藤 清三 福島県福島市飯坂町平野字五斗蒔 1 4 番地の 1 1
		(72) 発明者	浅間 好次 福島県福島市飯坂町平野字谷地田 1 番地の 2 9
		Fターム(参考)	2B121 AA12 BB16 BB27 BB29 BB32 BB35 BB40 CC14 EA21 FA13 FA20

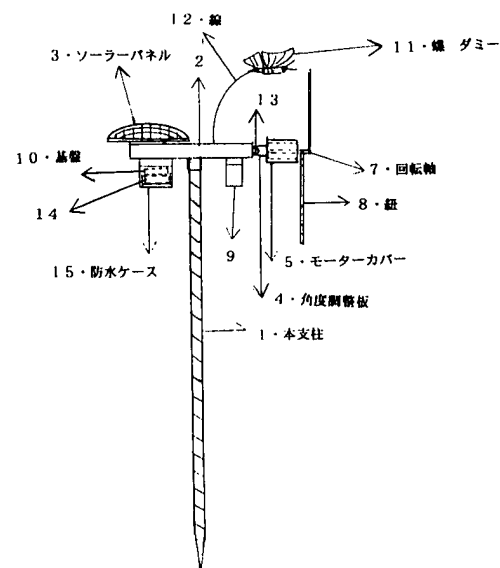
(54) 【発明の名称】 蝶駆除装置

(57) 【要約】 (修正有)

【課題】太陽光発電のソーラーパネルを利用してモーターの回転を活かし蝶を駆除する装置を提供する。

【解決手段】太陽光発電のソーラーパネル3からのエネルギーを活用し基盤と蓄電池14を使用しモーターの回転軸7の先端に紐8を固着し、誘引剤で蝶を誘き寄せ近付いた蝶を紐8で弾き飛ばし駆除する事で農薬散布を無くす蝶駆除装置である。

【選択図】図3



【特許請求の範囲】**【請求項 1】**

本支柱の上部に腕木を設け太陽光発電のソーラーパネルを一端上部に設置し、その下部に防水ケースに基盤と蓄電池を収納し、一方の一端に防水ケースの中にモーターを固設し、そのケースの角度を調整可能に設置し、モーターの回転軸の先端に紐の一端を固着した事を特徴とする蝶駆除装置。

【請求項 2】

腕木の一端に誘引剤を入れる容器を設け、その中にフェルモン トラップを注入し匂いを放し又、蝶の形態をしたダミーに細い線で固着し腕木に設置し揺らして誘き寄せ回転軸の先端に固着した紐で弾き飛ばす事を特徴とする請求項 1 の蝶駆除装置。

10

【発明の詳細な説明】**【技術分野】****【0001】**

本発明は、畑に種蒔き収穫するまで間、蝶が白菜、キャベツ等に産卵する事による被害を極力最小限に押さえる為の蝶駆除装置に関する物である。

【背景の技術】**【0002】**

従来、害虫を駆除するには、農薬を散布をするか、蝶を網等で捕獲するか、蝶に産卵されないように野菜等にネットを張り阻止することが主であった。

【発明が解決しようとする課題】

20

【0003】

野菜に蝶が産卵する事により、人体に悪影響を及ぼす農薬を散布せざる事が起きるが、事前に蝶を手間を掛けずに捕獲、駆除をして農薬を極力使用しないで野菜を収穫できるようにするもの。

【問題を解決するための手段】**【0004】**

太陽光発電のソーラーからのエネルギーと蓄電池でソーラー専用モーターの軸先端に紐の一端を固着した紐を回転させ寄ってきた蝶を弾き飛ばし駆除する事を特徴とする。

【0005】

蝶を誘い呼び込む為に、フェルモントラップを使用しモーターの回転軸ちかくに集める方法で駆除の確立制が高いのが特徴である。

30

【0006】

蝶の形態に類似したダミーに、細い線を固着し揺れ動き蝶を誘き寄せる動きをする事を特徴とする。

【0007】

太陽光発電のソーラーパネルから得たエネルギーを基盤を通しモーターを回転せるが余ったエネルギーは蓄電池に蓄めこみ、曇り日に蓄電池から自動的に切り替わりモーターは回転し続ける事を特徴とする。

【発明の効果】**【0008】**

太陽が昇ると自動的にモーターが回転し蝶が飛びかう時間に遇わせるように可動するので駆除する時間を無駄にしない。

40

【0009】

回転軸に付けてある紐は柔いので人体に触れても怪我をしないので安心して蝶駆除に使用できる。

【0010】

白菜、キャベツ、ブロッコリー等に特に産卵するが、この蝶駆除装置を設置する事により農薬を散布する回数が極力減る事が最大の特徴である。

【0012】

無能薬状態に近く子供やアトピー患者また病弱な人達に安心して食べて頂くことが出来る

50

。

【発明を実施するための形態】

【0013】

以下、本発明の実施の形態について図面を参照して説明する。

図1の本支柱1は地面に刺し込みソーラーパネル3を太陽方向に出来るだけ向くようにし腕木2の上部に線12を接着し、その先端に蝶ダミー11を揺れ動くように設け、腕木の先端に角度調整板4の先にモーターカバー5を設置し、の内部にモーター6を固着し回転軸7の先端に紐8を固着する、腕木2の下部に誘引剤容器9を設置し、その近く防水ケース15設け内部に基盤10と蓄電池14を収納したもの。

【0014】

図2の腕木2の上部にソーラーパネル3を設置し、その反対の先端に角度調整板4を設け蝶が飛来する角度に調整することも出来る。

その先端にモーターカバー5を設け、その内部にモーター6固着して収納し回転軸7の先端に紐8を固着したもの。

【0015】

図3の本支柱1の上部に腕木2を設け一方にソーラーパネル3を上部に設置し、その下部に防水ケース15を設置しその内部に基盤10と蓄電池14を収納し、その反対方向の腕木2の先端に角度調整板4を設け角度調整ネジ13で角度を固定する、その先にモーターカバー5を設け、内部にモーター6を固着し回転軸7に紐8を固着した、蝶ダミー11に線12を腕木2の上部に取付けたもの。

【図面の簡単な説明】

【0016】

【図1】本発明の正面図

【図2】本発明の平面図

【図3】本発明の左側面図

【符号の説明】

【0017】

- 1 本支柱
- 2 腕木
- 3 ソーラーパネル
- 4 角度調整板
- 5 モーターカバー
- 6 モーター
- 7 回転軸
- 8 紐
- 9 誘引剤容器
- 10 基盤
- 11 蝶ダミー
- 12 線
- 13 角度調整ネジ
- 14 蓄電池
- 15 防水ケース

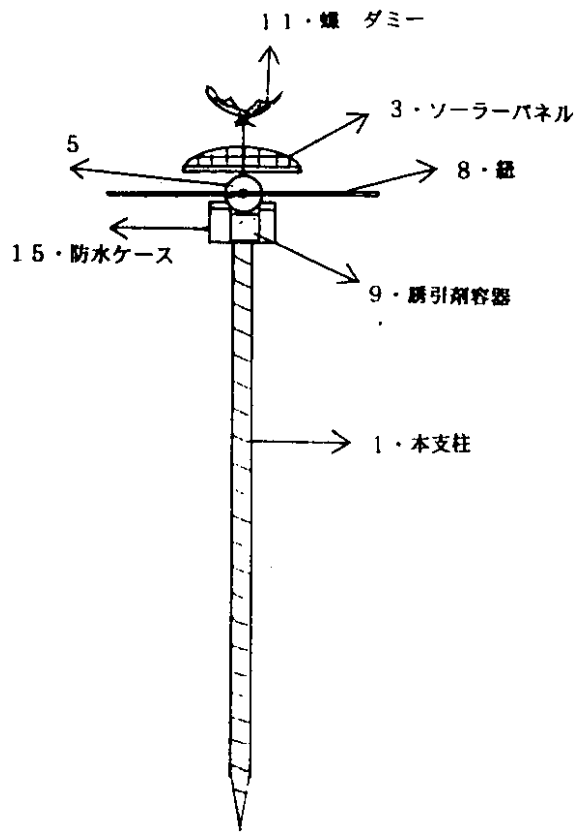
10

20

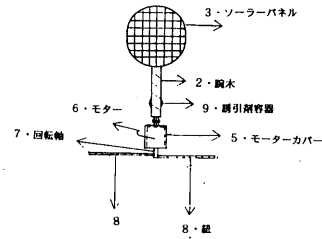
30

40

【図 1】



【図 2】



【図 3】

